

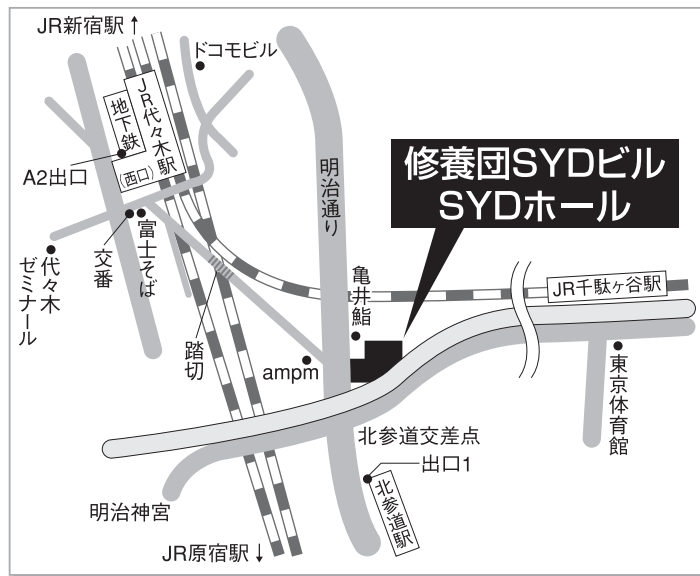
会場案内

会場 SYDビル SYDホール

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2
TEL 03-3405-5555

- JR山手線・総武線「代々木駅」西口より徒歩5分
- 都営地下鉄大江戸線「代々木駅」A2出口より徒歩6分
- 東京メトロ副都心線「北参道駅」出口1より徒歩3分
- JR総武線「千駄ヶ谷駅」より徒歩7分

※ホールには駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。
車でお越しになる場合は首都高速高架下の時間貸有料駐車場(千駄ヶ谷パーキング)をご利用ください。



お問い合わせ・参加申込先

NPO法人 メンタルケア協議会 事務局

〒151-0053 渋谷区代々木1-57-4 ドルミ第2代々木 2F
TEL 03-5333-6446 FAX 03-5333-6445 net@npo-jam.org http://www.npo-jam.org

参加申込方法

事前登録 可能であればインターネットでお申し込み下さい。

	インターネット ホームページから	FAXで申し込み
申し込み	<ul style="list-style-type: none"> ● ホームページ (http://www.npo-jam.org) にアクセスし、シンポジウム参加申し込みのページに必要事項を入力し、送信してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 下記申込用紙に必要事項を記入し、FAX送信してください。(FAX 03-5333-6445)
	<p>※6月17日(月)までにご発信ください 定員になり次第、期日前でも締め切ります。ご了承ください。</p>	
受付確認	<ul style="list-style-type: none"> ● すぐに、ご登録頂いたメールアドレスへ受信確認のメールを返信いたします。この返信メールがお申込受付証となります。(届かない場合は、メールアドレスの記入などに間違いがないか確認後、ご連絡下さい) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 後日、FAXでお申込受付証を送付します。数日待っても届かない場合はお問い合わせください。
当日	<p>お申込受付証を受付にご提示ください</p>	

当日受付 事前受付登録者が優先となります。
参加人数によって、ご入場・ご着席できない場合があります。ご了承ください。

FAX申し込み用紙 [FAX 03-5333-6445] ※申し込みはお一人様ずつお願いいたします。 FAX送信方向 ↑

ふりがな 氏名	勤務先名
	職種
住所 〒 <input type="checkbox"/> 職場 <input type="checkbox"/> 自宅	TEL
	FAX
	e-mail
メンタルケア協議会 …… <input type="checkbox"/> 会員 ・ <input type="checkbox"/> 非会員	(シンポジウム参加費：会員無料/非会員2,000円)
懇親会に参加 …… <input type="checkbox"/> する ・ <input type="checkbox"/> しない	懇親会参加費：会員・非会員とも2,000円
メンタルケア協議会シンポジウムに参加するのは …… <input type="checkbox"/> 初めて ・ 回目	

NPOメンタルケア協議会 第14回シンポジウム

急速に変貌している精神科医療と 精神保健福祉法の改正

～精神障がい者の権利をどう守るか～

日時

2013
6月23日
sun

場所 SYDホール

- 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2
- JR代々木駅 西口より徒歩5分

第12回定期総会12:00～12:30
シンポジウム

13:00～18:00

- 定員 250名(車椅子席をご用意できます)
参加費 会員：無料
一般：2,000円
懇親会 一律 2,000円

NPOメンタルケア協議会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-57-4 ドルミ第2代々木 2F
電話 03-5333-6446 Fax 03-5333-6445 E-mail net@npo-jam.org HP http://www.npo-jam.org/

急速に変貌している精神科医療と 精神保健福祉法の改正

～精神障がい者の権利をどう守るか～

精神科医療が急速に変わりつつあります

精神科病院では、平均在院日数が短くなり、在院患者数も減少しています。重装備の精神科救急入院算定病棟（スーパー救急病棟）は85病棟を超えました。精神科診療所や訪問看護も増えました。

しかし、退院時のリハビリや退院後の生活を支援するサービスとの連携が不十分だったために、すぐ再入院してしまうケースも増えています。また、“自傷他害の恐れ”で警察官通報（24条通報）する件数が増加しています。通院している以外は引きこもっている人が50万に近くと膨大で、家族の負担は大きいままです。

精神保健福祉法の改正で

患者の利益が守られるのでしょうか

精神保健福祉法の改正案が国会に上程されました。医療保護入院の保護者制度が廃止され、家族のうちのひとりの同意で済ませられます。移送制度も強化されます。医療保護入院がこれまでよりも行いやすくなりそうです。

退院については、精神科病院が「退院後生活環境相談員」を指定し、「地域援助事業者」を家族などに「紹介」す

ることになっています。これまでの「地域移行支援事業」では恒例であった、地域の関係者が集まる「ケース会議」はなくなるのでしょうか。

大きな改正です。患者の利益や権利をどう守るかが問われます。

精神科医療が急速に変わりつつある中で、今回の精神保健福祉法改正の持つ意味は何なのか、精神科医療をいっそう充実し、患者さんや家族の生活や権利を守るにはどうしたら良いか、多角的な視点で論じてみたいと思います。

最近の精神科医療の変化（厚労省平成22年630調査などから）

施設・制度		2000年→2010年
精神科病院	精神科病院在院患者数	92.3%
	平均在院日数	77.1%
	新入院患者数	107.9%
		2003年→2010年
精神科診療所	精神科診療所数	158.9%
	精神科デイケア等利用者数	175.0%
		1999年→2009年
行政措置	24条通報件数	229.5%

平田 豊明 ひらた・とよあき（精神科医／千葉県精神科医療センター長）
1977年3月千葉大学医学部卒業。同年6月銚子市立病院医員。1984年8月千葉県衛生部精神科医療施設準備事務所。1985年6月千葉県精神科医療センター医長。2000年4月千葉県精神科医療センター診療部長。2006年7月静岡県立こころの医療センター院長。2012年4月千葉県精神科医療センター長。

西村 由紀 にしむら・ゆき（精神保健福祉士／メンタルケア協議会理事）
1990年東北大学理学部卒。東北大学大学院理学研究科博士課程修了。メンタルケア協議会の法人設立を手伝い、東京都精神科救急医療情報センター、東京夜間こころの電話相談、東京都自殺相談ダイヤルの立ち上げに携わる。

白石 弘巳 しらいし・ひろみ（精神科医／東洋大学ライフデザイン学部教授）
1953年生まれ。東京医科歯科大学大学院修了。専門は精神医学、精神保健学。東洋大学ライフデザイン学部教授、東京都精神医学総合研究所客員研究員。総合失調症の診療や精神保健福祉の法制度などに関する調査研究に従事。

12:00～13:00 NPOメンタルケア協議会 第12回定期総会

NPOメンタルケア協議会 第14回シンポジウム 座長：羽藤邦利、西村隆夫

12:30～ 受付開始

13:00～ 開会挨拶：メンタルケア協議会理事長 羽藤邦利

13:05～13:45 **第1部 最近の精神保健医療福祉施策の動向と精神保健福祉法の改正**

厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 精神・障害保健課 友利久哉

《休憩10分間》

13:55～15:20 **第2部 急速に変貌しつつある精神科医療**

都立松沢病院が進めている改革について

都立松沢病院院長 斎藤正彦

スーパー救急病棟の果たす役割と課題について

千葉県精神科医療センター 平田豊明

統計数字から見る最近の精神科医療動向

メンタルケア協議会 西村由紀

《休憩10分間》

15:30～16:25 **第3部 精神保健福祉法改正、患者の権利擁護の在り方を考える**

国連原則、各国の“精神保健福祉法”、今回の法改正

東洋大学教授 白石弘巳

精神障害者地域生活支援から見る患者の権利擁護の課題

多摩在宅支援センター 寺田悦子

《休憩10分間》

16:35～ **第4部 ディスカッション**

～事例から考える、地域の受皿をどう創るか、精神障がい者の権利をどう守るか～

パネラー：第2・3部シンポジスト

指定発言：家族の立場から

東京つくし会 眞壁博美

精神医療審査会の実情と課題 吉澤法律事務所 吉澤雅子

17:55～18:00 閉会挨拶：メンタルケア協議会前理事長 穂積 登

18:00～ 懇親会〔SYDホール ホワイエ〕

吉澤 雅子 よしざわ・まさこ（弁護士／吉澤法律事務所所長）

1969年京都大学法学部卒。東京弁護士会所属。日弁連高齢者・障害者の権利に関する委員会および東京弁護士会高齢者・障害者の権利に関する特別委員会において精神障がい者の権利に関する問題に関わる。精神医療審査会審査委員を経験。

西村 隆夫 にしむら・たかお（精神科医／にしむらクリニック院長）

1980年3月筑波大学医学専門学群卒業。同年4月国立武蔵療養所研修医（現・国立精神神経医療研究センター病院）。1982年4月神戸大学医学部精神神経科教室。1983年4月国立武蔵療養所医員。1985年4月にしの木診療所勤務。1987年5月三ヶ島病院勤務。1992年5月都立松沢病院精神科。1993年5月都立多摩総合医療センター（旧府中病院）精神科部長。2012年10月にしむらクリニック開設。

羽藤 邦利 はとう・くにとし（精神科医／メンタルケア協議会理事長）

1967年京都大学医学部卒。東京大学付属病院、富士病院、東京都立松沢病院、法務省八王子医療刑務所を経て、1983年代々木の森診療所開設、現在理事長。その他、日本精神衛生会理事、日本精神神経学会理事、東京精神神経科診療所協会理事などを兼務。

Profile

友利 久哉 ともり・ひさや

（厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 精神・障害保健課 課長補佐）
2011年 精神・障害保健課 配属。

斎藤 正彦 さいとう・まさひこ（精神科医／都立松沢病院院長）

1980年3月東京大学医学部医学科卒業。1980年12月東京大学医学部付属病院精神神経科医員（研修医）。1982年4月東京都立松沢病院精神科医員。1985年9月同研究休職、ロンドン大学精神医学研究所、研究員。1986年10月東京都立松沢病院に復職。1991年6月東京大学医学部精神医学教室講師。1998年6月慶成会老年学研究所代表・青梅慶友病院副院長。2000年7月新宿一丁目クリニック・ユリの木クラブ開設、院長。2005年4月よみうりランド慶友病院副院長。2006年8月翠会和光病院顧問。2006年10月翠会和光病院院長。2012年都立松沢病院 院長。